

—農園を始めるきっかけは。

学校には地域の方から提供された田んぼや畑があります。田んぼの横に『農場記念碑』があるのですが、それによると、「戦争が激しくなった頃、学区民の有志の力によって農場が完成された」とあります。「全国最初の給食室が設けられ、子ども達の耕す汗によって給食が開始された」ともあり、歴史のある農園だとわかります。現在も食育の観点から、多くの学年が田畑を活用させてもらっています。



—どんな野菜を栽培しているのか。

稲作は五年生が行い、今年は168キロものお米がとれました。学校の調理実習でご飯を炊いて味わうほか、ここ何年かは市民館まつりでお米の栄養をポスターにまとめ、その内容を伝えたりしながら校区の方に配付するなどの学習活動も行っています。畑は、以前は全校でサツマイモを育てていましたが、近年は学年ごとにトウモロコシ、枝豆、落花生なども植えています。野菜も学校で味わうほか、家庭に持ち帰り、家族の話題にしています。

どれも、子どもたちが「お米の先生」「畑の先生」と



呼ぶ地域の協力者やPTAが、よくお世話をしてくださっています。収穫の楽しみを体験する、自分たちで料理して味わうなどの活動ができるのも、協力者の方たちのおかげです。ゲストティーチャーとして授業に入ってもらったり、感謝の会で、子どもが作ったおにぎりや五平餅と一緒に食べたりするなどの交流もあります。

—今後の活動は。

二年前、「つながる食育」をテーマに、栄養教諭を中心とした研究の成果を県で発表しました。コミュニティ・スクール計画も現在準備中です。元気な田原東部小学校区を目指し、学校、地域、家庭がつながる手段として、この田畑を有効に活用できたらと考えています。

(聞き手：村上 誠) 令和2年9月取材



発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎0531-23-3533 FAX0531-22-5952

☞ <http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

募集

パートさん
しその葉の摘み取り作業

内職さん
しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅:TEL0531-37-0447



社会福祉法人 福寿園

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3
TEL (0531)27-0008 FAX(0531)27-0828